

# 平成19年度 大阪府観光統計調査結果

大阪府にぎわい創造部観光交流局観光振興課観光戦略グループ

このたび、大阪府では、平成19年度の「大阪府観光統計調査」の実施結果を取りまとめました。

本調査は、観光客数及び経済波及効果を把握するために、毎年度実施している調査であり、(社)日本観光協会策定の「全国観光客数統計調査」(全国統一基準)に基づく調査です。

本調査結果から、平成19年度大阪府内を観光した「総観光客数」は、1億4,366万人と推計されました。

## 1 大阪府総観光客数及び経済波及効果等について

### 【総観光客数及び経済波及効果】

[ ]は前年度比 ( )は平成18年度推計値

総観光客数 = 府域外からの観光客数 + 府民観光客数  
 [0.4%増] 1億4,366万人 = 6,330万人 + 8,036万人  
 (1億4,310万人 = 6,315万人 + 7,995万人)

消費規模 = 総観光客数 × 観光消費額  
 [2.6%増] 2兆0,353億円 (1兆9,819億円)

参考 府内の百貨店年間販売額 1兆459億円

<平成19年「商業動態統計調査」>

府内のコンビニエンスストア年間販売額 4,200億円

<平成19年「商業統計調査確報」>

経済波及効果 過去の調査で得られた係数等による推計

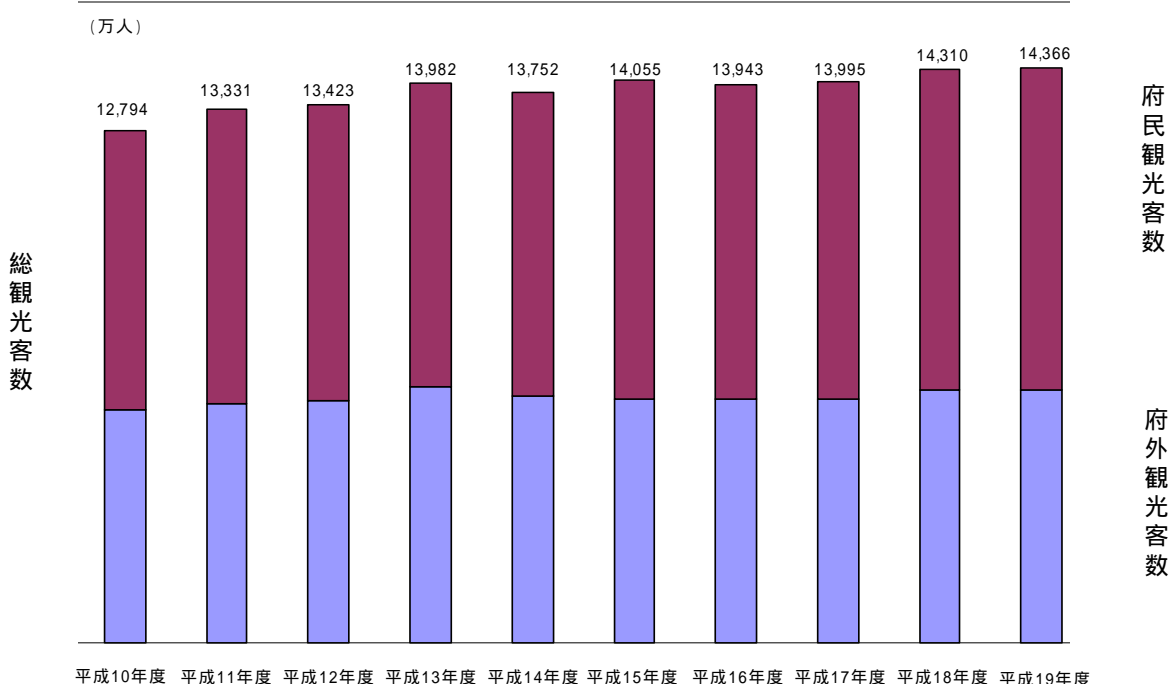
[4.3%増] 2兆8,450億円 (2兆7,446億円)

参考 府内総生産 38兆8,086億円

府内総生産(サービス業) 9兆2,663億円

<平成18年度「大阪府民経済計算」確報>

## 【総観光客数の推移】



総観光客数は、当調査開始の平成10年度から9年間で1,572万人の増加  
 総観光客数14,366万人は、府の人口(882万人【平成17年度国勢調査】)の約16倍  
 府外から訪れた「府外観光客」6,330万人は、総観光客数の44.1%  
 府民観光客数8,036万人は、府民一人あたり平均約9回、府内観光したことと同規模  
 経済波及効果は、2兆8,450億円で、平成17年度より1,004億円増加

### 【地域別の総観光客数】

北 大 阪 1,397万人(1,438万人)[97.1%]  
 東 部 大 阪 602万人(568万人)[106.0%]  
 南 河 内 393万人(404万人)[97.2%]  
 泉 州 1,539万人(1,495万人)[102.9%]  
 大 阪 市 10,435万人(10,405万人)[100.3%]  
 ( )は平成18年度推計値 [ ]は前年度比

大阪市への訪問客は、全体の72.6%  
 大阪市域は、平成18年度と比べて30万人の増加  
 大阪市を除く府域では、平成18年度と比べて、東部大阪地域で34万人、泉州地域で44万人増加したが、北大阪地域で41万人、南河内地域で11万人減少し、全体で26万人の増加となった。

(参考)

地域区分	市町村名
北大阪	吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、島本町、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町
東部大阪	守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四條畷市、交野市、東大阪市、八尾市、柏原市
南河内	富田林市、河内長野市、羽曳野市、松原市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
泉州	堺市、泉大津市、和泉市、高石市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町
大阪市	大阪市

## 2 観光統計調査の調査方法について

### 【大阪府総観光客数の算出方法】

大阪市域を除く大阪府域（大阪府が調査）の観光客数と大阪市域（大阪府実施の「大阪市の観光動向調査」）の観光客数を合算したものを、大阪府総観光客数としている。

#### 大阪府域分（大阪市域を除く）の観光客数の推計方法

府域の主要な観光施設及び宿泊施設（大阪市域を除く）の利用者数を、平成 16 年度の調査から算出された指標で調整し、実人数として推計した。

当調査は、(社)日本観光協会によって策定された「全国観光客数統計調査」(全国統一基準)に基づいている。

#### 平成 19 年度利用者数の調査施設数

観光施設 298 ヶ所及び宿泊施設 157 ヶ所

#### 観光客のとらえかた

大阪府内の観光対象を訪れた総観光客のうち、府民を「府民観光客」、大阪府域以外から訪れた観光客を「府外観光客」としている。

#### 経済効果等の分析方法

大阪府総観光客数から、これまで実施してきた調査で得られた係数等を使って経済効果等を推計している。

ホームページで調査結果を掲載しています

<http://www.pref.osaka.jp/kanko/kanko/chosa.html>